

# まなぶくんだより

和歌山県教育センター学びの丘 広報誌



## よりよい保育をめざして - 幼稚園教育要領等の改訂に見るこれからの幼児教育 -

昨年、「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が、同時に改訂されました。これに伴い、平成 30 年 4 月からは、新要領・指針に基づいた教育が各園（所）で実施されます。

幼児期は、子供たちが心身ともに大きく成長する時期であり、家庭をはじめ各園（所）において、子供たちは様々な環境を活用した遊びを通して多くの経験をします。この時期の様々な経験は、後の人格形成に大きく影響すると言われ、遊び込むことを通して、人との関わり方や言語等の獲得、自然の大きさ、美しさ、不思議さなど、たくさんのかことを学び、小学校以降の学習の土台を築きます。また、遊びの中で、目標達成に向けた「忍耐力」、友達と協力するための「社会性」、感情をコントロールするための「自尊心」など、非認知能力といわれる力も獲得していきます。

今回の改訂では、幼児教育において育む資質・能力として、「知識及び技能の基礎」、「思考力、判断力、表現力等の基礎」、「学びに向かう力、人間性等」の 3 つを示しています。これらは、小学校以降の教育においても求められる力であり、幼児期をスタートとする学校教育全体で共通して育成を図ることをめざしています。また、小学校教育との円滑な接続を図るため、幼児教育が最終的に向かうゴール像として、5 領域（注）をもとに考えた「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10 の姿）」（右図）を示しています。これらの姿は到達目標ではなく、日々の保育の中で 5 歳児の後半頃に見られるであろう具体的な姿をイメージしており、このゴール像に向かって保育を実施していくことを意味しています。

小学校との接続に当たっては、この 10 の姿を活用し、担当者同士で子供の育ちを共有するなどして、幼

児教育から小学校教育へのスムーズなつながりを意識していくことが求められています。

（注）5 領域・・・幼児教育における子供の育ちに関わる内容を、「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の 5 つに分類したものの。

### 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10 の姿）

- ① 健康な心と体
- ② 自立心
- ③ 協同性
- ④ 道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤ 社会生活との関わり
- ⑥ 思考力の芽生え
- ⑦ 自然との関わり・生命尊重
- ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ⑨ 言葉による伝え合い
- ⑩ 豊かな感性と表現



## 学び続けるということ

### 08 「本の喜び」

私が生まれて初めて自分で読んだ本は『地底恐竜テロドン』という SF の本でした。それ以来私は SF ファンになり、SF ばかり読んでいました。当時は SF という言葉自体知っている人が少なく、インターネットもありませんから、毎週、駅前の本屋さんに行って本棚の端から端まで探し回ったものでした。そのうち、東京の SF のファンクラブの存在を知り、手紙をやりとりして、SF

## Monthly 所長コラム 教育センター学びの丘 所長 鈴木 晴久

の情報を手に入れるようになりました。しかし、田舎のことですから面白い本の紹介があってもなかなか手に入れることができません。どんな本だろう、どんな内容だろうと想像を膨らませ、やっと手に入れたときのうれしさは何ものにもかえがたいものでした。早く読みたいような、読んだらもったいないような、どっちつかずの気持ちで、ページをちょっとめくっては慌てて閉じたり、巻末の他の本の紹介を先に読んだり、そんなことばかりしていました。

現在は本当に便利な時代で、欲しい本や情報があれば簡単に手に入ります。本当にそれはありがたいことですが、あのやっとの思いで本を手に入れたときの喜びを味わえないのかと思うとちょっと寂しい気がします。



# 学校の課題を突破する力量をもった教頭の養成をめざした 「平成 29 年度戦略的な学校経営力向上事業」

「戦略的な学校経営力向上事業」とは、様々な学校の課題を解決するための高い力量をもった教頭の養成と、身に付けた学校経営についての専門性、リーダー性を発揮した実践、またその普及により、県全体の戦略的な学校経営の充実を図ることを目的として実施している事業です。

今年度は、5名の受講者が福井県の各市で実地研修を行いました。受講者と実地研修先は右記のとおりです。

受講者は、各研修先において、学校教育目標の実現に向けて、学力向上の取組や地域との連携、保幼小中の連携等をどのように戦略的に実行していくかについて、管理職や担当者から聴き取りをしたり、会議や授業に参加したりし、所属校での実践と比べながら、様々な取組を学びました。

学校名・氏名	研修先	研修期間
和歌山市立加太中学校 教頭 吉川 豊	越前市武生第三中学校 越前市教育委員会	10/16(月) ～11/2(木)
橋本市立あやの台小学校 教頭 榎 洋史	福井市旭小学校 福井市教育委員会	10/23(月) ～11/10(金)
海南市立大野小学校 教頭 北端 一喜	越前市国高小学校 越前市教育委員会	9/4(月) ～9/22(金)
印南町立印南中学校 教頭 高台 浩	敦賀市立松陵中学校 敦賀市教育委員会	10/16(月) ～11/2(木)
田辺市立田辺第三小学校 教頭 瀬田 公寛	敦賀市立敦賀南小学校 敦賀市教育委員会	10/2(月) ～10/20(金)

実地研修後、受講者はそれぞれの所属校や地域において、和歌山県に引入るべき取組等の積極的な普及を図っています。また、所属校や地域の実態に即した形で学校経営に取り入れたり、同じ中学校区の管理職同士で協議して、次年度の計画に取り入れたりしています。

【実践例】	【次年度の計画例】
☆ <b>スクールプランの作成・実行</b> ☆ <b>学習規律の徹底</b> ☆ <b>会議・職員朝礼の効率化</b> (補充学習・教材研究等の時間確保)	☆ <b>保幼小中の連携強化</b> (相互授業参観を計画的に実施) ☆ <b>学年掲示を活用した成果の可視化</b> ☆ <b>週時程の変更</b> (15分程度の帯時間の確保)

## 主体的・協働的な学びを創る授業事例集【理科編】を作成しました！



昨年度、言語活動を通して指導事項を指導することにより、児童生徒の主体的・協働的な学びを実現する授業づくりについて示すため、県内の先生方の協力を得て「主体的・協働的な学びを創る授業事例集【国語編】」を作成しました。すでに多くの先生方が活用され、日々の授業づくりに取り組みられています。本年度は、この取組を他教科においても一層進

めていくために、県内の先生方の協力により、「授業事例集【理科編】」を作成しました。

本事例集は、小・中学校理科の授業事例 2 例、問題解決の活動事例 10 例を解説書（本資料）と DVD（本資料巻末に貼付）に収録しています。

全事例については、次の 3 点を踏まえた授業改善例とし、「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」を柱とした内容において、「構想」「分析（分析・解釈）」「適用」「改善（検討・改善）」の 4 つの視点に沿って、授業づくりのポイントを示しています。

- 1 「和歌山の授業づくり 基礎・基本 3 か条」を踏まえる
- 2 主体的・協働的な学びの視点を取り入れる
- 3 問題解決の活動を通して、指導内容の定着を図る

授業事例 2 例については、本時の授業動画と授業者による解説動画で構成しています。

本事例集を校内研修や自己研修等で活用し、理科の授業改善と児童生徒の学力向上に向けた授業づくりに役立ててください。

収録内容は以下のとおりです。

### 【授業事例 2 例】

- ・小 4 とじこめた空気や水
  - ・中 2 天気の変化と大気の動き
- ### 【問題解決の活動事例 10 例】
- ・小 3 かげのでき方と太陽の光
  - ・小 3 じしゃくのふしぎ
  - ・小 5 メダカのとんじょう
  - ・小 6 植物のつくりとはたらき
  - ・小 6 月と太陽
  - ・中 1 光による現象
  - ・中 1 水溶液の性質
  - ・中 2 さまざまな化学変化
  - ・中 3 物体の運動
  - ・中 3 遺伝の規則性と遺伝子